

2021年度の事業報告書

2021年4月1日から 2022年 3月 31日まで

NPO法人リエラ

1 事業の成果

2021年度4月～6月は、令和2年7月豪雨による被災地の復興支援活動を継続し、借上型応急仮設住宅等に入居した被災者の見守り支援を行った。訪問の際には復興新聞「いっぽいっぽ」を作成持参して、まちの復興状況を伝えた。また、長引くコロナ禍で、住民同士が集う場が激減し、孤独を感じている被災者もいるため、感染症対策を講じつつ集いの場づくりを5会場で行った。防災活動支援事業では、地域防災力向上を目指し、災害ボランティアセンター運営講習や、コロナ禍により災害時の避難を躊躇する方の対応策を考える勉強会を開催するなど、災害から大切な命を守るための取り組みを実施した。移住促進事業では、6月1日から本市より「移住支え合い事業」を受託し、空き家バンク物件の取り扱いや移住前から移住後までの一貫したサポート事業をスタートした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の 金額 (単位：千円)
災害支援事業	・災害発災後の現地調査および支援活動の検討	(A) なし (B) なし (C) 0名	(D) なし (E) なし	0
	・令和2年7月豪雨災害支援 〈みなし仮設住宅見守り支援 (休眠預金助成事業)〉 ・孤立、孤独防止のための見守り訪問をおこない、関係機関と情報共有会議を開催した。個別訪問 ・復興新聞「いっぽいっぽ」の発行、配布 ・みなし仮設住宅入居者を対象に、今後の再建についてと新型コロナウイルスにより生活にどのように影響しているかについてヒアリング調査をおこなった。 ・豪雨災害と新型コロナウイルス時の活動報告書作成	(A)4/1～2022/3月末 (B)日田市 (C)5名	(D)日田市内の被災者 (E)450名	10,489

	<p><集いの場づくり（赤い羽根ボラサポ助成事業）> 被災地で住民同士の交流の機会を設けつつ、防災意識向上を図る防災サロンを5会場で開催した。</p>	<p>(A)5/25、6/6、6/9、6/17、6/24 (B)日田市 (C)4名</p>	<p>(D)日田市内の被災者 (E)130名</p>	1,324
	<p>・令和元年8月大雨災害復興支援（Yahoo!基金） 佐賀県武雄市の地元支援団体「一般社団法人おもやい」とともに、令和元年8月大雨の被災地住民を対象にヒアリング調査を行った。</p>	<p>(A)4/1～9月末 (B)佐賀県武雄市 (C)3名</p>	<p>(D)佐賀県武雄市民、一般社団法人おもやい (E)300名</p>	945
	<p>・令和3年 静岡県水害支援団体「しずおか茶の国会議」に対する支援金の募金活動</p>	<p>(A)7～7月末 (B)日田市 (C)2名</p>	<p>(D)静岡県熱海市の被災者 (E)300名</p>	300
災害支援事業	<p>・令和3年8月豪雨災害支援（休眠預金事業、レディフォー赤い羽根、日本財団） □ 大分県日田市 天ヶ瀬温泉街復旧作業 ボランティアを募集し泥出し活動をおこなった。 □ 佐賀県武雄市 （社）おもやいをカウンターパートとして復旧活動、スタッフおよびボランティア派遣、被災住民への炊き出し等運営のサポートもおこなった。天ヶ瀬温泉足湯サロンを開催した。</p>	<p>(A)8/15～3月末 (B)日田市、武雄市 (C)8名</p>	<p>(D)日田市天瀬町住民、（社）あまみら、佐賀県武雄市民、（社）おもやい (E)1500名</p>	9,613
災害支援事業	手拭い販売	<p>(A)4月～3月末 (B)日田市、武雄市 (C)3名</p>	<p>(D)全国 (E)30名</p>	0
防災活動支援事業	<p>・大分県防災士キャリアアップ研修事業（大分県委託事業） 防災士のキャリアアップを目的に、避難所運営訓練の企画及び研修を実施した。 防災教材として「おおいた避難所開設の手順書」を作成した。</p>	<p>(A)4/1～3月末 (B)大分県日田市 (C)5名</p>	<p>(D)大分県 (E)150名</p>	1,981
	<p>・日田市体験型防災プログラム事業（日田市委託事業） 日田市内の自治会等の防災団体さらに小中学校にて体験型防災の防災プログラムの実施及び、チラシ作成</p>	<p>(A)6/6、8/22、9/19、10/24、12/15、1/21、1/31 (B)大分県日田市 (C)3名</p>	<p>(D)日田市天瀬町、秋山町、清流自治会、五馬中学校、桂林小学校 (E)200名</p>	1,273

	<p>・市民が災害時に安心して避難できる土台づくり事業 (日田市民サービス協働事業)</p> <p>介護・福祉・医療関係者とともに、要配慮者と福祉避難所の視点から、安心して避難できる土台をつくり避難躊躇者0を目指すための勉強会を3回実施し、福祉避難所連絡会にて今年度の取り組みの報告を行った。個別避難計画モデル作成のため、市の担当およびケアマネージャー等と要配慮者を訪問・ヒアリングを行い、個別避難計画の手引き動画を作成した。</p>	<p>(A)5月～2022/3月末 (B)大分県日田市 (C)3名</p>	<p>(D)日田市民 (E)100名</p>	602
	<p>・防災講演会 大分大学や公民館等にて講話およびワークショップをおこなった。</p>	<p>(A)4/1～2022/3月末 (B)全国 (C)3名</p>	<p>(D)参加者 (E)800名</p>	493
	<p>・福祉施設の防災プロセス支援事業(中津市社協委託事業) BCPマニュアル及び福祉避難所運営マニュアル作成を目的し、災害食体験、入所者避難訓練、福祉避難所の開設訓練等をおこなった。</p>	<p>(A)5月～2022/3月末 (B)養護老人ホーム 中津市豊寿園 (C)4名</p>	<p>(D)施設職員、入所者 (E)300名</p>	22
	<p>・災害ボランティアネットワーク推進事業(大分県社協) 日本青年会議所大分ブロック協議会とともに、県内4エリアに分けて災害時のネットワーク構築を図るための会議に参加した。</p>	<p>(A)5/29, 6/20, 6/26, 7/4 (B)大分県内 (C)2名</p>	<p>(D)ボランティアネットワーク (E)300名</p>	21
	<p>・大分県災害ボランティアセンター運営支援事業 検討委員会・地域防災部会 大分県内の社協等を対象にした災害ボランティアセンター運営および支援者研修の開催や打ち合わせをおこなった。</p>	<p>(A)4/1～2022/3月末 (B)大分県社会福祉協議会 (C)4名</p>	<p>(D)大分県内の社会福祉協議会職員など (E)150名</p>	
移住・定住促進事業	<p>・移住支え合い事業(日田市委託事業) 移住前から移住後の一貫したサポートを行い、移住者獲得と移住者の定住率を向上させるた</p>	<p>(A)6/1～2022/3月末 (B)大分県日田市 (C)4名</p>	<p>(D)全国 (E)700名</p>	4,886

	<p>め、また市内で増加する空き家対策のため以下の業務をおこなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家掘り起こし調査 ・空き家バンク登録前調査 ・物件内見案内 ・移住推進情報共有会議 (市内振興局管内10カ所×2回) ・ひた暮らし応援団研修の開催 ・移住相談会実施および県主催の相談会参加 ・移住後の相談 ・移住者交流会実施 ・移住体験ツアー実施 			
<p>その他、この法人の目的を達成するために必要な事業</p>	<p>なし</p>			